

## 東京海上グループの防災推進の取組が 「ジャパン・レジリエンス・アワード 2017」を受賞

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017(注)において、東京海上日動火災保険株式会社(社長 北沢 利文、以下「東京海上日動」)の「ぼうさい授業」が「最優秀レジリエンス賞」を、「自治体・商工会議所と連携した BCP ワークショップ」が「優秀賞」を、東京海上日動と東京海上日動リスクコンサルティング株式会社(社長 安田成喜、以下「TRC」)の「今改めて考える 身近に起こりうる地震と対策」および「簡単・早分かりBCP策定シート」が「優秀賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

(注)「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する、次世代に向けたレジリエンス社会構築のため、強くてしなやかな国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する取組を実施している企業・団体を評価、表彰する制度です。

### 【受賞取組】

取組／賞	内容
「ぼうさい授業」／最優秀レジリエンス賞(リスクコミュニケーション 情報)	東日本大震災を契機に「自らのノウハウを活かした社会貢献を」との思いからTRC社員が教材を開発し、東京海上日動が東北大学の監修を受けて取り組む防災啓発プログラム。社員・代理店が講師となり、全国で約 300 回の授業を、約2万人の小学生等を実施しています(2017年3月末現在)。2016年からは中国現法・東京海上日動火災保険(中国)有限公司が「防災授業」を開始。防災啓発取組を海外にも拡げています。
「自治体・商工会議所と連携した BCP ワークショップ」／優秀賞	中小企業向けのBCP策定支援プログラム。研修を修了した全国で約 100名の社員が講師となって実施。自治体、商工会議所、金融機関様等と連携して開催。参加費用は無料。単なる座学のセミナーとは異なり、まず震災を模擬体験しBCPの必要性を体感した後、グループワーク方式で BCP の骨子部分を作成。ワークショップ終了後もフォローを行い完成まで見届けます。すでに全国で50回以上開催し、300社以上にご参加いただいています。
「今改めて考える 身近に起こりうる地震と対策」および「簡単・早分かりBCP策定シート」／優秀賞	地震リスク啓発冊子「今改めて考える 身近に起こりうる地震と対策」と、中小企業にBCP策定のはじめの一步を踏み出していただくためにBCPの全体像を1枚で俯瞰できるツール「簡単・早わかり！事業継続計画(BCP)策定シート」を開発。これらを活用して、企業が自社およびサプライチェーン全体のBCPの底上げを図り、従業員への周知徹底を通じてBCPの実効性を高めていただくことを目指しています。2017年3月現在、製造業・建設業・小売業・運輸業・旅館ホテル・高齢者介護施設など全 11 種類を開発し、社員・代理店経由で合計 4 万冊以上を各企業・自治体・商工会議所へご案内しています。

また、今年度新設された「第1回グリーンレジリエンス大賞」において、東北大学と東京海上グループの産学連携による「東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門」の「東日本大震災における海岸林の津波減災効果に関する研究活動—自然力を生かした津波防災・減災に向けて」が「優良賞」を受賞しました。

災害課題の解決と被害軽減は私たちの喫緊の課題です。東京海上グループは、3つのCSR主要テーマ「安心・安全をお届けする」「地球を守る」「人を支える」に重点を置き、災害リスクに備える商品サービスの提供から子どもたちや企業への防災啓発活動に至るまで事業活動全般を通じて、地域社会の皆様とともに、安心・安全でサステナブルな未来づくりに取り組んでまいります。



授賞式の様子。右から2人目は  
東北大 IRIDeS 今村文彦所長



以上